

千葉大学医学部附属病院で胃癌治療をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年12月18日

食道・胃腸外科

食道・胃腸外科では、大型 stage IV 胃癌でに関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2016年9月～2023年3月の間に食道・胃腸外科で大型 stage IV 胃癌と診断され経腸栄養チューブを利用した治療を受けた方

1. 研究課題名

「大型 stage IV 胃癌における経腸栄養チューブを利用した治療法の有用性の探索」

2. 研究期間

2023年承認日～2024年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

食事や水分の摂取が出来ない大型 stage IV 胃癌と診断され、経腸栄養チューブを利用した治療を行った症例を解析し、経腸栄養チューブを利用した治療の有用性を調べる事が本研究の目的です。

方法としては、2016年9月から2023年3月まで当科で大型 stage IV 胃癌と診断され、経腸栄養チューブを利用した治療を受けた方の診療情報を解析し、治療効果、水分や食事の改善具合などの治療成績を検討し、本治療法の有用性について検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、カルテから得られる以下の個人情報を利用します。

身長、体重、病歴、血液検査値情報、経口摂取状況、画像情報、病理情報、予後情報等

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：食道・胃腸外科 教授 松原 久裕

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院食道・胃腸外科（千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学）において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：横手 幸太郎）

食道・胃腸外科 診療准教授 早野 康一

043（222）7171 内線5294